

通津小学校&ペリースクール 国際交流



給食タイム

岩国市立通津小学校では2ヶ月に1回、学校、育ての会、通訳ボランティア、地域の方々が結集し、国際交流会が開催されています。

7月8日、ペリースクール（基地内の学校）のサマースクールの一環で、授業交流やメキシコ文化の体験をし、そのあと、児童達は昼食や短冊作りを一緒にし、異文化を満喫していました。



自己紹介タイム



七夕の短冊作り

宮井校長

地域ぐるみのご協力により、国際交流会を続けることができます。

交流を通して、児童達が、いろいろな人がいるということを知り、友達とも考えが違うことを分かってほしい。そうするといじめがなくなり戦争もなくなると思います。交流会をすると、大人より子どものほうが打ち解けるのが早く、言葉が通じなくても、じゃんけんをしたりして、いつの間にか仲良くなっています。自然の姿ですね。

ペリースクールの先生

日本の児童は、フレンドリーで、人なつこいという印象が残りました。アメリカの父親は学校の行事には参加し、協力的で、ワーク・ライフ・バランスの取れた生活を送っています。

男女共同参画社会 海外編

最近、海外の方の姿がよくみられ、学校や地域でも海外の方との文化交流などが盛んにおこなわれています。外国人を同じコミュニティの一員として受け入れ、言葉、文化の違いを理解し合い、国際的な視野を持つことは、男女共同参画に向けても大切なことです。

今回は、交流の様子、そして、その中で岩国に滞在し活躍されておられる外国人に、国や家庭における、男女共同参画の様子をお話していただきました。



ロベス先生の外国語活動の授業



メキシコの紹介



メキシコの踊り

中島エバさんへインタビュー

通訳の仕事をしていて、メキシコの日本の企業で働いていた夫と知り合い、結婚し、19年前に日本にきました。

最初は友達がいなかったから、英語クラブへの参加、華道、茶道、太極拳など日本文化の習い事、そしてボランティア通訳をして輪を広げていきました。日本人は優しく受け入れてくれました。

エバさんの男女共同参画

私は主婦なので家のことを主にしていますが、夫は自分が帰るまで好きなことをしていいよと言ってくれます。

家事は分担していて、私が忙しいとき夫は仕事を休んで子どもの行事などへ参加してくれます。メキシコは男性が外で働き、家のことは女性という伝統ですが、レディーファーストで、休みの日はお母さんの好きなところへ行き、夫は仕事から帰ってきたら子どもと遊んでいます。

家族が1番、仕事は2番。子どもの送迎も、朝は夫が会社に出る際に子どもを送るので、お母さんはゆっくり片付けができ、迎えはお母さん。お手伝いさんを雇っている人も多いです。

仕事に関して、男女差別はないと思います。



佐理伴 眞育さん

米国サンフランシスコ市出身で、京都外国語大学、徳山大学で、英語、スペイン語の教鞭をとった。日本文化に深く興味を持ち、三味線、琴、茶道、きものが趣味となり、その活動の中で地域の方々との交流を楽しむ一方で、岩国錦ライオンズクラブ会員として、地域社会に貢献する活動をしている。

家事の分担について

母は、私が幼いころから仕事を持っていて、両立は大変でしたので、父、弟と私が家事を手伝いました。家事は妻だけの義務ではないと思います。家族の中で誰もが行う必要があります。子供たちもそうです。幼い子供たちはテーブルの準備や食事の後片づけもしました。

大きくなるにつれ、洗濯、料理の手伝い、庭の除草、ごみ出し、洗車などをこなしていきました。また、デートの時に着るシャツは自分でアイロンもかけました。



山口民謡睦実会の方々と共に

日本に来て「アレ?」と思ったことは?

日本でこのような長い時間を生きてみると、私は人々が世界中で同じであることを実感するようになりました。米国で育った私は人種差別を知っています。私が初めて日本に来たとき、私は誰もが同じだったので、任意の差別がないだろうと思いました。

しかし、日本人の中でも国際結婚の子どもたちが「ハーフ」と呼ばれ、外国間の偏見はあるのだと感じました。

岩国中学校&中央公民館地域交流活動! その中で指導者として参加

岩国中学校で、様々な体験を通して見聞を広め、社会生活の営みを学ぶことを目的に、地域住民の方々との交流が行われました。

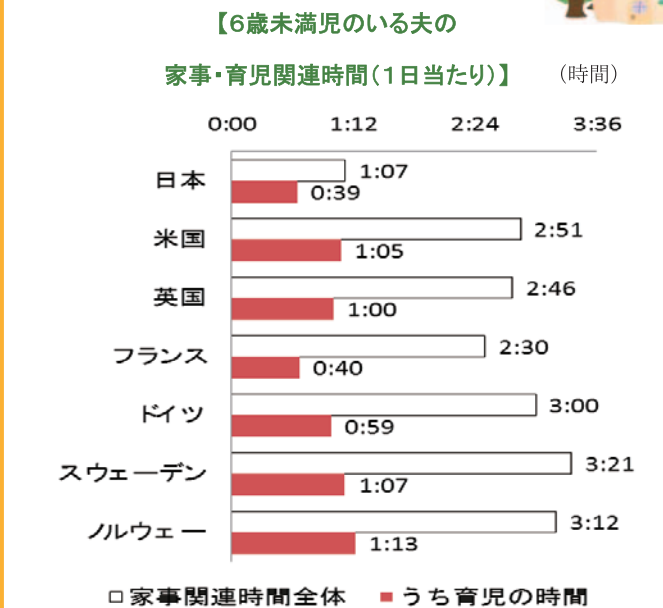
山口民謡睦実会のメンバーと共に指導者として参加された佐理伴 眞育さんを取材させていただきました。(8月1日)



日本の男女共同参画社会について

女性は男性の仕事を行うことができますし、男性も女性の仕事を行うことができます。“対等の仕事に対する対等な賃金”は重要です。

男性の家事・育児時間の関係



(備考)
1. Eurostat "How Europeans Spend Their Time Everyday Life of Women and Men" (2004), Bureau of Labor Statistics of the U.S. "American Time Use Survey Summary" (2011) 及び総務省「社会生活基本調査」(平成 23 年)より作成。
2. 日本の数値は、「夫婦と子どもの世帯」に限定した夫の時間である。